

令和6年10月号

川越セントノア病院 〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂290-2
TEL049-238-1160 FAX049-238-1162 <https://www.saintnoah-kawagoe.jp>



アの爽かせ風



～目次～

- 病院短信『想像力』
- 介護だより
- 作業療法科だより
- 日常の一コマ
- 『好天下で水遊び』

3病棟看護師長

主演 ナナ

10月の予定 祭 祭 祭 祭 祭

◆秋まつり開催!! 26日(土) 13:00～15:00
みなさまのお越しをお待ちしております。

◆誕生日会

1病棟: 11日(金) 14:15～	各病棟にて
2病棟: 10日(木) 14:00～	
3病棟: 9日(水) 14:00～	

秋 祭

敬老会



好天下で水遊び

水遊びやろうか、～(*^*)/

たかい(´;´)

遊んだね(^^)v

番外編

えっ、いいのΣ(°Д°)

ナナ、ジャンプ!

日焼けしたかしら(◎_◎:)

みず～

みず～(°Д°)

よいしょっと:(~ω~):

今日のナナ

ナナは水遊びが大好きです♥

楽しい～っ(*´ω`*)

『想像力』

厳しい残暑が続く、さわやかな秋晴れやおだやかな秋の日差しが待ち遠しく感じる日々が続いています。まだまだ熱中症に十分警戒が必要だと思っています。

病棟では患者さんに季節を感じていただくとうと趣向を凝らし、飾り付けや行事など考えています。今月開催される秋祭りでも各病棟患者さんと一緒にアトラクションの準備を話し合いながら進めています。



この話し合うという場面は日常の中で度々みられ、とても重要な事です。私達は幼い頃より自分の考えを話し、相手の考えを良く聞くということとを教育されてきました。話し合いにより、答えが見つければ良いのですが、自分の考えが正しい・自分の価値観に合わない考えは間違っていると考え、相手を正そう・分からせようとする対立が生まれます。

対立を超えるためには物事を多角的に考えることが必要となります。自分の価値観だけでなく別の解釈で物

事を捉えることが出来れば、今まで気づくことが出来なかったことが見えてくることもあります。

また、内省することも必要です。内省とは、起きた出来事に対し、自らの言動を省みることです。なぜ自分はそう思ったのか・なぜそのような行動をしたのか・自分自身に問いかけることで新しい気付きが得られるかもしれません。

そして相手の気持ちを想像する・相手の気持ちになつて物事を考えてみる。1人1人の想像力を大切にしたいチーム力を育んでいきたいと思ひます。



日常のーコマ



今月は2病棟の秀子さん(65歳)のーコマです。秀子さんは練馬区出身で3人姉妹の3番目です。短大時代はバスケットボールに打ち込み、卒業後は仕事をバリバリこなすキャリアウーマンだったそうです。また、休みの時は趣味のダイビングや乗馬を楽しんでおられました。36歳の時にご結婚され、静岡に移り暮らし女の子を授かりました。平成17年頃、ご主人が病気になりその頃から徐々に物忘れや季節感の無い服装を



するなど認知症状が出始めました。その後、ご主人が亡くなり近所に住む義両親や義姉のサポートを受けながら娘さんと2人で生活をされていました。平成29年頃からは自分の名前が書けない・自宅の鍵をなくすなど認知症状が強くなり、東京医科歯科大学を受診し大脳皮質基底核変性症と診断され、ご入院されました。退院後は静岡に戻らず、練馬でお姉さん達と生活するようになりました。当初は短大時代のバスケットボール仲間と近隣に出かけるなどされていましたが、徐々に自分やお姉さん・娘さんの名前が分からなくなり、令和5年に自宅で転倒してしまったのをきっかけに急に認知症が進み、大声出すなどが急激に増え、健康長寿医療センターに入院されました。その後長期療養のため、令和5年8月に当院に入院されました。

入院当初も大声がみられていましたが、ファンである松田聖子さんや80~90年代のヒット曲をかけると、気分が落ち着くのか表情が和らぎ、大声もおさまります。お姉さん達が面会に来られた時も、元気よく「秀ちゃん!」と声をかけられると、秀子さんの表情が優しい笑顔になります。秀子さんは言葉が出ませんが、明るい声で話しかけているお姉さん達を見ると仲の良い姉妹だったのだろうなあと思います。また、秀子さんはシミひとつない美肌と歯並びの良いきれいな歯を保たれています。この美肌ときれいな歯を保てるようにケアしていきたいと思っています。



介護だより



早いもので入職してから1年が経ちました。振り返ると慌しい毎日が駆け足で過ぎた1年でした。まだ至らぬところが多々ありますが、これからも自分のペースで熟していきたいと思っています。私は1日の終わりに寝る前に一杯のハーブティーを飲むのが習慣となっています。カモミール・レモングラス・バタフライピーなど、その日の気分種類を選んでピンク色や紫色の食用花を浮かべて、味・香り・色を楽しんで飲んでいきます。ほとんどのハーブティーはノンカフェインでリラックス効果もあるので夜間はよく眠れています。食用花は無味無臭が多く栄養価も高いそうです。花の種類はバラ・ビオラ・パンジー・ナデシコなどです。また、ピンク色にはベイクーミラーピンク効果といって、鎮痛効果・人の心を落ち着かせる効果もあるそうですよ。季節の変わり目、ちょっとした睡眠不足から不調に陥りがちですので、皆さんも体調管理に気を付けて秋の夜長を楽しみましょう。

作業療法科だより

秋とは名ばかりの残暑が続く令和6年、頃合いをみて野菜の種まきを行いました。大根、カブ、白菜、ネギ etc・・・と様々な種を、土の中へ収穫の期待を込めて



埋めていきます。「何の料理にしようか」「漬物が食べたい」など楽しい会話が飛び交います。夏野菜は大収穫でしたが、秋の大収穫は実現できるのか?患者様と共に、間引きや水やりを行いながら、成長の過程を見守っていききたいと思います。

